

志教育の視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
--------	----------------------

活動名	地域連携及び地域交流
教科・領域等	農業「総合実習」、農業クラブ活動
活動学年等	3年次（農業選択生徒）
ねらい	販売実習、花壇植栽、農業施設見学など地元の方々と交流することにより、地域農業の現状と課題を知り、農業の必要性と地元の方々からの期待度を感じ、社会性や自主性を養い、将来地域に有用な人材を育成する。

【実践内容】

〔今年度の主な活動〕

- 地域花壇の植栽（5月・11月） ○野菜草花苗の販売会（5月上旬）
- 地域農業学習（11月～12月） ○農産物販売会（文化祭） ○スマート農業体験会（12月）

〔活動内容〕

1 植栽活動

本校では5月と11月の年2回、JR本吉駅前と本吉支所前花壇の植栽を行っている。1年を通して季節の花々が見られるように、春はマリーゴールド、サルビア、ジニア等の色とりどりの花を配色など考えのデザイン性も意識しながら丁寧に植栽している。植栽活動中には地域の方から声をかけていただき、本校で手入れしている花壇が地元の方に親しまれていることを実感できる。

2 野菜・草花苗の販売

5月上旬に野菜・草花苗の販売会を行っている。この行事は長年行われている伝統の行事で待ち望んでいる方も多い。今年度は、コロナ禍で開催できるか不安だったが感染対策をしっかりとしたうえで実施できた。買いに来てくれた人からは、栽培方法や収穫物の利用方法などの質問を受け、それに答えることで地域の方との交流とともに日頃の学習成果が発揮できる行事である。

3 地域農業学習

11月には獣害で困っている地域に出向いて、地域の獣害の現状と集落の問題点などを学び、獣害の原因となっている柿の収穫作業を行った。この地区は高齢者が多く、柿の収穫作業が困難で柿が収穫できず、そのままの状態になっている。しかし、それを目当てに小動物が出て、畑も荒らされ困っている。そこで本校生徒が獣害の現状と果実の収穫方法を学びながら、柿の収穫作業を行い地域に貢献している。

また、地元で生産から加工・販売までの6次化に取り組んでいる若手女性農業者の方から講演や震災地域を盛り上げようと南三陸でワインを製造・販売しているワイナリーの方からお話を伺い、問題に直面したときの課題解決の方法などを学んだ。意見交換会では活発に質問するなど、将来地元で貢献できる人材育成の一助になっている。

4 農産物販売会

11月に行われる文化祭では、本校農場で収穫した多くの種類の農産物を販売する。販売時間前から、たくさんの方が並んでいる姿を見ると、本校が地域の方から期待されていることが分かる。私たちも、期待に応えられるようにお客さんとのコミュニケーションを大事にしながら丁寧な接客を心がけている。

5 先進農業機械体験会

12月には本校の水田で、農業機械を多く取り扱う「株式会社五十嵐商会」の主催で、スマート農業体験会に参加している。体験には地元農家の方々も多く参加し、農業用ドローン、GPSと連携した最先端トラクタ、自動運転草刈り機の仕組みや操作の説明・実演などが行われる。最先端の技術に実際に触れることで興味・関心を高めると同時にスマート農業について理解を深めている。

【活動の様子】



本吉駅前花壇植



本吉支所前花壇植栽



地域農業学習(柿の収穫)



農産物販売会



スマート農業体験会



地域農業学習(施設見学)